

## 2. 事業の概要

本学は、昨年創立 25 周年を迎え、平成 29 年度からまた「新たな一步」を踏み出しました。医療・福祉の総合大学として、「医療・福祉教育と医療福祉施設の融合」を目指し、魅力ある大学づくりに取り組んでまいります。

### (1) 平成 29 年度の事業内容

#### ① 大学等拡充計画の推進

##### (A) 大学に関する事業

- ・超高齢社会となり、理学療法士・作業療法士を増やすことは、多くの医療機関において課題となっています。本学では、こうしたニーズに量・質ともに応えるため、現行の保健衛生学部理学療法学科を改組し、リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）を設置するための準備を進めています（平成 31 年 4 月設置予定）。特に作業療法学専攻は、三重県の大学では初めての設置となります。
- ・保健衛生学部鍼灸サイエンス学科に「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」と「鍼灸学専攻」の 2 つの専攻を平成 31 年 4 月に開設するために準備を開始しました。新設の「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」では、1 年次から 3 年次の授業でスポーツに関連する教養と技術を習得することで、日本トレーニング指導者協会（JATI）と全米エクササイズ&スポーツトレーナー協会（NESTA）の 2 団体のスポーツトレーナーの受験資格が得られます。将来、鍼灸師とスポーツトレーナー資格を合わせ持つことで、スポーツ選手や健康運動を実践している方へ治療とコンディショニング指導を行える人材の育成を目指します。

##### (B) 大学院に関する事業

- ・医療科学研究科医療科学専攻に、臨床心理学分野の設置準備を行いました（平成 30 年 4 月開設）。同分野では、「公認心理師」、「臨床心理士」の受験資格に対応したカリキュラムで授業を行います。また、平成 31 年 4 月開設に向けて看護学分野の設置についての検討を行っています。
- ・本学では、東京サテライトキャンパスや名古屋サテライトキャンパスでの教育をはじめとする社会人が学びやすい環境の整備を進めてきましたが、新たに下記の 2 つの制度の認定を受けました。

#### 【一般教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座】

医療科学研究科医療科学専攻（修士課程・博士後期課程）が対象です。一般教育訓練給付制度とは、働く方の主体的な能力開発の取組み又は中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とし、一定の条件を満たした方には教育訓練受講に支払った費用の一部が支給されるものです。（詳しくは、下記の厚生労働省ホームページをご参照ください）

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

#### 【職業実践力育成プログラム（BP）】

医療科学研究科医療科学専攻修士課程名古屋サテライトコース（医療情報実践学分野）が対象です。職業実践力育成プログラム（BP）とは、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムであることを文部科学大臣が認定したものです。

(C) こころの相談センター、こころのクリニックの開設

平成 29 年に大学附属施設として「こころの相談センター」および「こころのクリニック」を千代崎キャンパス内に開設しました。「こころの相談センター」は、地域に開かれた施設として様々なご相談にお応えすると同時に、学部生や大学院生の実習施設としても活用します。また、「こころのクリニック」は精神疾患やこころの悩みを持つ患者数の急増に応えるとともに、臨床心理学分野における学部・大学院の教育実習施設としても活用し、充実した教育環境として整備されています。大学内で近接する両施設の密接な連携による心理療法と精神科治療の一体運営形態は全国でも大変珍しく、地域社会に大きく貢献できるものと考えています。

【こころの相談センター】



	月	火	水	木	金	土	日
10:00-12:00	○	○	○	○	○	○	×
13:00-17:00	○	○	○	○	○	○	×

※休室日：日・祝祭日（平成 30 年 5 月現在）

※完全予約制

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町 1001-1

TEL：059-373-5701（代表）

FAX：059-373-5702

【こころのクリニック】



	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00 ◎は 13:00 まで	×	◎	×	×	○	×	×
14:00-17:00	○	×	×	×	○	×	×

※休室日：水・木・土・日・祝祭日（平成 30 年 5 月現在）

※完全予約制

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町 1001-1

TEL：059-367-7601（代表）

FAX：059-367-7602

② 教育内容の充実

- ・医療人（福祉人を含む）に共通して求められる、専門科目の教育だけでは培うことのできない基盤的な技能・知識・資質の教育である本学独自の「医療人底力教育」を始めて 4 年目を迎えました。この「医療人底力教育」を更に効果的な教育にするために授業方法や内容を継続して検討しています。
- ・「医療人底力実践（基礎 I）」（全学科 1 年次必修科目）で行われている体験学習の一環として、大学に隣接する特別養護老人ホーム「桜の森白子ホーム」（社会福祉法人サムス会）を訪問し、高齢

者とのコミュニケーション方法やマナーなどを学びました。また、「桜の森白子ホーム」とは、学科の実習や学生等のボランティア活動など多方面で協働しています。



(桜の森白子ホーム外観)



(「医療人底力実践 (基礎 I)」桜の森白子ホームでの体験授業の様子)



- ・「医療人底力教育」を更に展開するための授業科目「医療人底力実践 (応用)」(4年次選択科目)が、平成29年度に初めて開講されました。夏季休暇を利用しての3日間の病院実習では、「事例を通して自職種の専門性について理解を深める」「事例の問題を多職種連携によって解決していく過程を理解する」「多職種連携の必要性と重要性を理解し、多職種連携の意義を学ぶ」「多職種連携に必要な基本的技術を学ぶ」ことをテーマに、医療福祉施設における実際の事例課題に取り組み、問題解決策を提案し発表を行いました。
- ・平成29年8月22日～24日の3日間、三重大学医学部生と本学の学生を対象に「慢性疼痛チーム医療者養成プログラム」の一環であるワークショップ形式の集中講義が初めて行われました。このプログラムは、文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の補助を受け、三重大学と本学の合同プロジェクトとして開講されたもので、痛み治療に関わるメディカルスタッフの養成を目的としています。

### ③ 学生支援の強化

世の中に貢献できる良き医療人として活動するためには、専門分野の学問を学ぶことと同じくらいに社会性を磨かなければならないという観点から、本学では勉学以外の社会性を評価する手段の一つとして、「SUMS ポイント制度」を導入することにしました。「SUMS ポイント」は、大学の行事やボランティアセンターでの活動などに参加した際に、学生の自己申告により発生するポイントです。そのポイントを基に社会貢献度の高い学生を表彰します。この制度をきっかけに、学生が色々な経験を積み、幅広い知識を得てもらうことを期待しています。

### ④ 高大連携・地域連携・産学官連携の推進

- ・平成29年7月、四日市メリノール学院中学校・高等学校と本学は、高大連携に関する協定書の調印式を行い、高大連携協定を締結しました。この連携を通じて、四日市メリノール学院の生徒が本学の教育研究等に触れる機会を提供することで、両校の相互理解を深め、教育の質の向上と活性化を図っていきます。

- ・平成 30 年 2 月、鈴鹿工業高等専門学校と本学は学術研究交流に関する協定を締結しました。この協定は、近隣地域における産業振興、イノベーション創出及び人材育成を目的として、それぞれの特色を生かした医学及び工学の分野における学術研究に係る連携をするものです。
- ・平成 29 年 6 月、一般社団法人三重県薬剤師会と本学は連携・協力に関する包括協定を締結しました。この包括協定は、両者のもつ資源を活用し、薬学生の育成及び薬剤師の資質向上など双方の教育・研究活動の発展に寄与するとともに、地域住民の健康・医療・福祉に貢献するため、相互に連携と協力を深めることを目的としています。

また、三重県薬剤師会が三重県の補助を受け、全国で 7 番目、東海地方では初めての導入となるモバイルファーマシー（在宅医療・災害支援用移動薬局車両）の設置・管理を本学が行うこととなり、平成 29 年 12 月に白子キャンパスにて、両者は覚書の調印を交わしました。モバイルファーマシーとは、無菌設備を含む各種調剤機器を備えた特別な車両で、平時は、薬学部のある白子キャンパスに設置され学生への教育のほか、地域における在宅医療を念頭に置いた薬剤師向けの研修、健康イベントでの県民への啓発などに広く活用していきます。さらに、大規模災害発生時には、大学・薬剤師会・行政が連携協力し、災害地への迅速なモバイルファーマシーの派遣と被災者への支援活動を行います。



（モバイルファーマシー外観）



（モバイルファーマシー内部）



## （2） 施設設備に関すること

### <建物>

- ・千代崎キャンパスでは、受変電設備更新工事や非常放送設備更新工事、研究厚生棟・実験実習棟・動物舎空調更新工事、実験実習棟トイレ改修工事を実施しました。

### <構築物>

- ・白子キャンパスでは、駐輪場設置工事を実施しました。

### <教育研究用機器備品>

- ・放射線科学技術科の X 線一般撮影装置や、理学療法学科の三次元動作解析装置、白子キャンパス情報演習室パソコン一式など、大学全体で 6,083 万円の機器備品を購入しました。

(3) 研究等について

- ① 平成 29 年度の受託・共同研究の入金額は、22,547 千円でした。
- ② 平成 29 年度に交付を受けた科学研究費補助金（間接経費を含む）は、57 件 62,478 千円（うち本学の教員が研究代表者となっている研究は 35 件 57,980 千円）でした。